

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの理論と方法 I (4 単位)	3. 科目番号	SSMP2157 SNMP3357 SCMP2157 SBMP2157 SPMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	西尾 紀子		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	ソーシャルワークの基盤と専門職 (ソーシャルワーク I) の単位を取得した後に履修することが望ましい		
7. 講義概要	本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。 特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス (相談援助の展開過程) と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。		
8. 学習目標	下記の目標を達成することが期待される 1. 人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 2. ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 3. ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 4. コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 5. ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	毎回の授業にて、授業内容の振り返りや国家試験対策などの小テストを行う。授業進行中間の時期 (冬休み時期) と期末時期において、講義 (教科書) 内容に関しての理解を深めるために、レポート課題を出す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目) 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目⑫』中央法規出版、2021 年 1 月		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 ・5つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解) ・5つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践) ・5つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) ○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価		
12. 受講生へのメッセージ	本学の基本方針である学生個人の思考力、創造力、問題解決能力の育成を目的に、受講生には下記①～③の遵守を期待します。守れない場合は、授業態度の減点対象となります。 ① 遅刻・早退(前後 20 分まで)、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席等する場合は書面(メール含む)で理由を記載し教員に届け出ること。交通機関遅延による遅刻の場合は、遅延証明書に学籍番号と氏名を記載し提出のこと。遅刻・早退は 3 回で 1 回の欠席と集計します。なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めません。 ② 確認小テストやレポート課題を期日までに提出すること (氏名を必ず記載のこと)。 ③ 授業中の私語や居眠り、許可の無い携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。 なお、授業展開については、進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。 ソーシャルワークの知識を学ぶプロセスのなかで、社会福祉分野への興味関心の幅が広がることを期待します。		
13. オフィスアワー	授業内(初回授業)で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 講義概要と進め方について	事前学習	教科書を準備し、講義に臨むこと。
		事後学習	講義概要と学習目標を理解する。
第 2 回	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク ーよりどころとなる理論的知識を学ぶ	事前学習	教科書の第 1 章 pp. 2～40 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 3 回	ソーシャルワークの過程① ーケースの発見、エンゲージメント	事前学習	教科書の第 2 章 pp. 42～56 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 4 回	ソーシャルワークの過程② ーアセスメント	事前学習	教科書の第 3 章 pp. 58～74 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 5 回	ソーシャルワークの過程③	事前学習	教科書の第 4 章 pp. 76～92 を読み、概要を理

	ープランニング		解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 6 回	ソーシャルワークの過程④ ー支援の実施とモニタリング	事前学習	教科書の第 5 章 pp. 94～104 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 7 回	ソーシャルワークの過程⑤ ー支援の終結、アフターケア	事前学習	教科書の第 6 章 pp. 106～118 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 8 回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ① ー考え方と実践モデル	事前学習	教科書の第 7 章 pp. 120～128 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。

第 9 回	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ② ー心理社会的アプローチ、問題解決アプローチなど]	事前学習	教科書の第 7 章 pp. 128～141 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 0 回	[ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③ ー行動変容アプローチ、認知アプローチなど]	事前学習	教科書の第 7 章 pp. 142～183 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 1 回	[ソーシャルワークの面接① ー面接の意義と目的]	事前学習	教科書の第 8 章 pp. 186～190 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 2 回	[ソーシャルワークの面接② ー面接の方法と実際]	事前学習	教科書の第 8 章 pp. 191～207 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 3 回	[ソーシャルワークの記録① ー意義と目的]	事前学習	教科書の第 9 章 pp. 210～217 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 4 回	[ソーシャルワークの記録② ー方法と実際]	事前学習	教科書の第 9 章 pp. 218～237 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 5 回	[中間まとめ（ふりかえり）]	事前学習	教科書の第 1 章～9 章を読み、振り返る。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 6 回	[ケアマネジメント①ー原則]	事前学習	教科書の第 10 章 pp. 240～244 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 7 回	[ケアマネジメント②ー意義]	事前学習	教科書の第 10 章 pp. 245～247 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 8 回	[ケアマネジメント③ー方法と展開]	事前学習	教科書の第 10 章 pp. 248～253 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 1 9 回	[ケアマネジメントの実践]	事前学習	教科書の第 10 章を振り返り事例にのぞむ。
		事後学習	講義・演習を通して要点をまとめる。
第 2 0 回	[グループを活用した支援①ー意義と目的]	事前学習	教科書の第 11 章 pp. 256～267 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 1 回	[グループを活用した支援②ー方法]	事前学習	教科書の第 11 章 pp. 268～277 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 2 回	[コミュニティワーク①ー意義と目的]	事前学習	教科書の第 12 章 pp. 280～285 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 3 回	[コミュニティワーク②ー展開]	事前学習	教科書の第 12 章 pp. 286～300 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 4 回	[ソーシャルアドミニストレーション ー実践している外部講師などの話を聞く]	事前学習	教科書の第 13 章 pp. 302～306 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 5 回	[組織介入・組織改善の実践モデル 組織運営における財源の確保]	事前学習	教科書の第 13 章 pp. 307～315 を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 6 回	[ソーシャルアクション ー実践している外部講師などの話を聞く]	事前学習	教科書の第 14 章 pp. 318～326 を読み、概要を理解する。

		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 7 回	「コミュニティ・オーガナイズ ーコミュニティ・オーガナイズとは何か？」	事前学習	教科書の第 14 章 pp. 327～337 を読み、概要を 理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 8 回	「スーパービジョン ー意義、目的、方法、概要を知る」	事前学習	教科書の第 15 章 pp. 340～350 を読み、概要を 理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 2 9 回	「コンサルテーション ー意義、目的、方法、概要を知る」	事前学習	教科書の第 15 章 pp. 351～354 を読み、概要を 理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第 3 0 回	「まとめ（全体のふりかえり）」	事前学習	配布資料を整理し、ノートをまとめる。
		事後学習	国家試験の過去問題を復習する。